

厚木市郷土資料館NEWS 229

(仮称) あつぎ郷土資料館建設 準備報告⑥ 資料館の休館と講座について



厚木市郷土資料館は、新たな施設の平成 31 年 1 月の開館を目指し、準備を続けていますが、資料の移転に伴う作業等のため、平成 30 年 4 月から休館させていただきます。ご不便をおかけいたしますが、皆様のご理解、ご協力のほどお願い申し上げます。

なお、現在の資料館で進めてきました「伝えよう！わらべうたあそび」「古文書解読会」などの活動につきましては、この間、アミューあつぎ(中町 2-12-15)の 5～8 階にあります「市民交流プラザ」にて、活動を続けてまいりますのでよろしくお願いいたします。

さて、下川入の新施設では、基礎の工事が終了し、まもなく 1 階部分の床がみえ、展示室など建物の広さが実感できるようになります。現地の自然園、その周辺は「さくら狩りエリアマップ」に⑤、⑥番として掲載されるさくらの名所です。工事中の今年度は仮囲いなどがあって全面の展望はかないませんが、今後はこの恵まれた自然を活かした展示や講座、またイベントとの連携も考えていきます。

4 月から現在の資料館は休館となりますが、厚木の歴史、自然、文化についてのお問い合わせ等の業務は行っておりますので、郷土あつぎに関するご質問は、引き続き資料館へ電話等をお願いいたします。

* 今年の「資料館 news」では、新施設の準備の様子をお伝えしています。

資料館のさまざまな活動⑤ 調査・研究 資料整理の先にあるもの



▲情報を標本につける作業



▲膨大な標本整理から始まる分析

資料館には多数の資料が収蔵されています。たとえば、自然系の資料では、昆虫標本 10 万点、植物標本 4 万点を筆頭に、鳥獣剥製^{はくせい}200 点、キノコ複製 100 点などがあります。これらは 1 点ずつ、どのような資料であるかを鑑定し、「いつ・どこで・どのように」といった情報を添付して整理しています。整理が済んだ自然系資料は、データベースに入力され、検索や集計など、膨大な資料の分析が瞬時にできるように整備しています。

データベースの利用の仕方ですが、認知度が高いホタルという昆虫、特に蛍狩りの対象となるゲンジボタルを例として紹介しますと、①市北部を中心に见られる、②沿岸部より 2 週間遅れて成虫が出現する、③体にある紋が東北や九州のゲンジボタルと異なっているなど、資料から分析できることを研究し、市民の皆さまからの問い合わせ業務に日々活用しております。

このデータベースは、数年という期間でみると、展示会や展示解説、ガイドブック（『あつぎの野鳥』等）のベースとなり、郷土を理解し、愛着を育む一助となるのです。

膨大な資料をコツコツと、長い時間をかけて行われる資料整理は、一見、同じことの繰り返しで無駄のように思われるかもしれませんが、しかし、この活動は、あつぎらしい独自の研究成果を市民の皆さまに提供する展示、講座、見学会等を実施するための、まさに「博物館活動の^{いしすえ}礎」なのです。

2017年 学芸員実習の感想

学びの楽しさを実感した観察会

郷土資料館では毎年、市内在住、在学で学芸員を目指す大学生の実習受け入れを行っています。資料館で行われる講座、展示会の一部を体験することで、学校での座学とは違った学びをしていただきました。昨年の夏から秋にかけて、資料館で博物館実習を経験した学生にその感想を記してもらいました。

＊

厚木市郷土資料館での博物館実習を通して、今まで学校で受けてきた座学では学べない様々なことを学べ、充実した日々を送れました。実習期間8日間の中でも特に印象に残っているのは2回の課外実習です。



1 回目のホタルの観察会では夜ということ、近くに遊具があることで子供の安全面などに注意しながら、無事に終えることができました。大変でしたが、子供の笑顔、ホタルに夢中になっている姿を見たりすると、またやりたいという気持ちになれました。2 回目のセミの羽化の観察会は残念ながら悪天候で観察自体は中止になりましたが（注:写真は前年度のものです）、学芸員が自宅で観察する方法も準備しており、うまく対応していたのが印象に残っています。また、学芸員の子供に対する説明の仕方、引きつけ方も非常にうまく、今後このような機会があれば、お手本にしていきたいと思いました。

他の実習日には、移転に向けた作業の実習が中心となりました。標本の運び出し、整理、資料の採寸、またデータ整理なども行わせてもらいました。特に、トリケラトプスの化石の頭骨採寸に際しては、大きいので大変ではありましたが、間近で見ることができ、嬉しかったのを覚えています。標本などは収蔵庫に膨大な数があることに驚き、魅力的なものもあったので展示でも見てみたいなとも思いました。このような経験は、移転準備中だからこそできることで、通常の実習ではできない貴重な体験となりました。

最後になりますが、移転準備でお忙しい中、実習を受け入れていただいた厚木市郷土資料館の皆様、特に実習担当の槐学芸員に大変、感謝しております。新資料館にも伺わせていただこうと思っています。お世話になりました。

神奈川工科大学 応用バイオ科学部応用バイオ科学科 4 年
畑ヶ谷 颯

2018. 3月 郷土資料館カレンダー

日	曜日	行 事 内 容	実 施 場 所	時 間	対象等
5	月	伝えよう わらべうたあそび!	学 習 相 談 室	10:00~ 15:00	◎
8	木	古文書講座 「はじめての古文書」④	学 習 相 談 室	10:00~ 12:00	☆
		古文書解読会	学 習 相 談 室	14:00~ 16:00	◎
15	木	古文書講座 「はじめての古文書」⑤	学 習 相 談 室	10:00~ 12:00	☆
		古文書解読会	学 習 相 談 室	14:00~ 16:00	◎
19	月	伝えよう わらべうたあそび!	学 習 相 談 室	10:00~ 15:00	◎
22	木	古文書講座 「はじめての古文書」⑥	学 習 相 談 室	10:00~ 12:00	☆
		古文書学習会「江戸時代の厚木」について	アミューあつぎ ルーム502	13:30~ 15:30	◎



○申込み制

☆受講決定済みの方

◎参加自由

古民家岸邸の雛まつり

■会 期 平成30年3月11日まで

■時 間 10時～15時(休館日は下記参照)

■会 場 古民家岸邸(厚木市上荻野792-2)

《古民家岸邸 3月の休館日》 *11日まで「岸邸の雛まつり」開催中
5(月)、6(火)、12(月)、13(火)、19(月)、20(火)、26(月)、27(火)

4月から《伝えよう わらべうたあそび!》実施時間、場所を変更します
第1月曜日、アミューあつぎ 市民交流プラザで午後1時からとなります。

(問い合わせ・申込み先)

厚木市郷土資料館 〒243-0003 厚木市寿町3-15-26

<http://www.city.atsugi.kanagawa.jp/> 046-225-2515

厚木市郷土資料館 news 229

発行日：平成30年3月1日 編集：厚木市郷土資料館
発行：厚木市教育委員会